

医療機関

医療法人東浩会 石川病院



▲左から 石川 泰祐理事長、石川 勉副院長（泌尿器科担当医）



▲新棟のオープンにあたり導入されたMRI画像検査装置。県内で3か所にしか導入されていない「無痛MRI乳がん検診」を受けることができる。

**早期発見を重視
地域に最新の医療を届ける**

医療法人東浩会石川病院（津山市川崎）は、1946年に初代院長の石川浩氏が設立。1990年には「医療法人東浩会（とうこうかい）」が設立され、その後も老人保健施設や訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等を相次いで設立。地域に根ざした医療機関として人々の暮らしを支えてきた。

2024年7月に新棟をオープンし、「泌尿器科」「婦人科」を開設。開設にあたり、最新のMRI画像検査装置を導入しており、県北では初導入となる「無痛MRI乳がん検診（ドゥイブス・サーチ）」を受けることができる。

現在、乳がん検診の手法としてはX線検査（マンモグラフィ）が主流であるが、人に見られることや痛

みへの抵抗から検査に忌避感を持つ方もおり、早期発見の妨げになることがあった。しかし、今回導入された「無痛MRI乳がん検診」は、名前の通り「MRI」を使った「痛みが全くない」がん検診であり、Tシャツ等を着たまま検査を受けられる。さらに、マンモグラフィに比べてがん発見率も高く、早期発見につなげることができる。

また、泌尿器科においても最新のレーザーセラピーシステム装置を導入しており、尿路結石症や前立腺肥大症などに対する治療が可能。従来に比べ出血量を抑えられ、手術時間が短縮できるため、患者への負担が少なく、安心して治療を受けていただける。

これからも患者に寄り添い、法人理念にもある「母の手」のような愛情と優しさのある医療で人々の暮らしを支えていく。



医療法人東浩会 石川病院

【住所】

岡山県津山市川崎554-5

【診療科目】

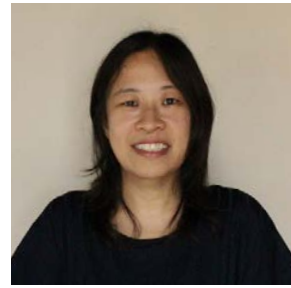
内科、消化器・肝臓内科、
糖尿病内科、感染症内科、
循環器内科、泌尿器科、
婦人科、人工透析内科、
放射線科、
リハビリテーション科

詳しくは
HPにて



児童発達支援、放課後等デイサービス
居宅訪問型児童発達支援、相談支援

株式会社いろ葉



代表取締役 小林 友紀子氏



▲「株式会社いろ葉」の職員の方々。訪問指導員、保育士、心理師、相談支援専門員など、専門知識や資格を有した職員が従事しており、0歳から18歳までの幅広い年齢層に療育を提供することができます。



- 1 「多機能型事業所 あおば」「相談支援事業所 和日葉」の職員による手作りの看板。
- 2 あおばの建物内。温もりある木の建物で、家のようにのびのびと過ごすことができる。

子どもたちひとりひとりに
将来のための療育を提供する

株式会社いろ葉(勝田郡奈義町豊沢)は、2024年2月に創業。児童発達支援等を行う「多機能型事業所 あおば」と「相談支援事業所 和日葉(わかば)」を運営している。

代表の小林氏は、塾講師として長年子どもたちと接する中で、多様な障がい、保護者のニーズがあるにも関わらず、それに対応可能な事業所

が少ないと感じ、障がいを持つ子どもたちの社会的な自立の支援を目的に、レスパイトケア※という役割を担い、子どもたちの将来のため、それぞれにあった療育を提供できる場を実現したいと考え、株式会社いろ葉を起業した。利用者の社会的な自立

※レスパイト＝小休憩・休息 介護等を行う家族の一時的な休息を目的に、家族に代わりケアを行うこと。

の支援を目的とすることから、社名は「物事の始まり」という意味で「いろは」とし、植物の「葉」に様々な色や形があるように、自社で預かる子どもたちも様々であることから「葉」という字を使用した。

当社では、児童発達支援(0歳から6歳までの未就学児)から放課後等デイサービス(6歳から18歳の就学児)まで、幅広い年齢層への療育を提供するのが特色。

また、居宅訪問型児童発達支援が可能な訪問指導員、保育士、心理師、相談支援専門員などの専門知識や資格を有した職員が従事しており、適切な療育の提供に加え、障がいを持つ人が地域社会で暮らしていくための困りごと、悩みの相談に応じ、必要な福祉・支援につなぐことができる。

これからも、子どもたちとその家族に寄り添い、それぞれの将来のための療育を提供していく。



株式会社 いろ葉
多機能型事業所 あおば
相談支援事業所 和日葉

【住所】

勝田郡奈義町豊沢600

【定休日】

日・祭日

【営業時間】

9:00～17:00

Instagramは
こちら





▲札勘体験をする様子



▲支店長にインタビューする様子

津山東中学校の

職場体験学習に参加しました

9月4日(水)、5日の2日間、津山東中学校が行っている「職場体験学習」の一環として、2年生の生徒3名が当金庫東支店にお越しくださいました。

津山東中学校では授業の一環として、「働くこと

の大切さや喜びを知る」ことなどを目的に、職場体験学習を実施されています。

当金庫ではお越しいただいた生徒に、信用金庫の仕事内容の説明、窓口

でのタブレット操作、模擬紙幣を使った札勘(お札を数える)を体験して

いただいたほか、支店長へインタビューを実施し、聞き取った内容をまとめてつしん日和第10

0号の記事を作成していただきました。

参加した生徒からは「普段は見る事ができないお店側からの視点や金融機関の仕事を知ることができて、とても勉強になりました」と嬉しい

お声をいただきました。

「岡山県しんきん合同ビジネス

交流会」が開催されました

9月11日(水)、コンベックス岡山にて、岡山県下7信用金庫等の主催による「第18回岡山県しんきん合同ビジネス交流会」を開催しました。

本交流会は、販路・仕入先の開拓や企業間連携の促進のための商談と、経営上の課題・お悩みの解決などに関する相談を促すための催しで、岡山県内外から約310の企業・団体にご参加いただきました。

自社製品・サービスなどをPRしていただく

参加されたお取引先様から「たくさんの人がブースに来てくれた。時間は限られていたが、その分濃い時間となり、良い商談ができた」との声をいただきました。

「しんきん合同ビジネスコンテンツ」では、当金庫のお取引先様から2社が最終審査に進出し、岡山県産の果物などを使用したワッフル専門店の事業をPRした「レプタイル株式会社」様が優秀賞を受賞されました。



▲会場の様子



▲ビジネスコンテスト受賞企業の方々



▲講師を務めていただいた柳原氏

「作州地域の活性化

応援セミナー」を

開催しました

9月17日(火)、津山鶴山ホテルにて、「作州地域の活性化応援セミナー『自動車編』」を開催しました。

本セミナーでは、岡山県産業振興財団アドバイザー、元日産自動車株式会社車両生産技術開発本部技術参与の柳原秀基氏を講師にお招きし、「クルマの電動化・知能化、市場の多様化がもたらす自動車部品へのニーズ変化と地域の企業に期待される技術」と題して、今後の自動車産業の見通しやEV車市場の状況等についてお話しいただきました。

二宮支店が

正式オープン

しました

9月24日(火)、当金庫二宮支店の新店舗が正式オープンを迎え、オープニングセレモニーを行いました。

新店舗は、脱炭素社会の実現に向けて、地元県産材である『美作ひのき』をふんだんに使用した建物といたしました。開放的な吹き抜けを有するラウンジは、木の温かみを感じながら寛いでいただける憩いのスペースとしてご利用いただけます。

皆様のお越しを職員一同お待ちしております。



▲オープニングセレモニーの様子



▲調印式の様子

「しんきんの翼第2号」

投資決定に伴う

調印式を開催しました

中小企業向け創業・育成&成長ファンド「しんきんの翼第2号」を運営する信金キャピタル株式会社に対し、当金庫はお取引先である株式会社フェクト様を推薦し、厳正な審査の結果、投資が決定しました。

本件は、当ファンドにおいて中国・四国地方での第1号案件となり、9月25日(水)に当金庫本店にて調印式を開催いたしました。

※「しんきんの翼第2号」は、創業や成長のステージにある信用金庫の取引先中小企業に対して、資本または資本性資金を直接供給すること等で企業の成長を支援することを目的としたファンドです。

「第36回

しんわ美術展」を

開催します

10月26日(土)から11月4日(月)までの期間、アルネ津山4階津山市立文化展示ホールにて、津山しんわ文化財団主催(協賛:津山信用金庫)「しんわ美術展」を開催します。

今年で36回目の開催となるしんわ美術展では、全国各地からご応募いただいた作品のうち、審査の結果選ばれた入選入賞作品約150点を展示する予定です。

昨年は1700名を超える方々がご来場くださり、ご好評をいただきました。全国公募の非常にレベルの高い絵画展となっておりますので是非お越しください。



美作の国 雑感

～津山駅の変貌が示唆するところ～

理事長 松岡 裕司



津山駅は101年の歴史があり古くから中国山地の交通の要衝となっています。私の学生時代には大阪発姫新線急行があり良く帰省した記憶が蘇ります。

津山駅は津山線や姫新線、因美線の起点・中継点です。それが、車社会の進展とともに乗降客数が激減し、数年前にはJR西日本が、赤字路線の存続や利便性の向上ひいては廃止を含めたあり方についての協議を周辺自治体に呼び掛けたことは驚きました。

そんな中の津山駅ですが、この2年で大変貌を遂げています。駅構内のバリアフリー化やホーム間の跨線橋再生とエレベーターの設置、従前の地下通路は鉄道職員の仕事に纏わる情報・実物展示がなされ鉄道ファンには必見です。また駅構内にトイレも設置され、津山駅本屋は、今年の9月、JR岡山建築区の渾身の作品として、内装の全面的改良工事が完成し、そのコンセプトは「城モダン」、津山の魅力発信を津山「城」や「城」下町がイメージされ、また幅広い年齢層のアンテナに刺さるような情報発信・コミュニティが図れるスペースにリニューアルされました。是非ともご覧いただきたいと思います。

これだけ津山駅を変貌させたJR西日本さまへ:国鉄民営化の中で経営の効率化が必須ではあったものの、鉄道は安心安全で時間に正確、大量輸送にも適しており、欧米で見直されているように地球環境に優しく作州地域には無くてはならない社会資本であると思っています。どうか、新技術による水素車両の開発や県北の一大産業である木材など重量物運送の復活など新たな視点によってローカル鉄道の復活に尽力頂ければと願っています。もちろん、我々地元民がインバウンドなど交流人口を劇的に増加させ賑やかな駅にする努力を官民あげて行っていかねばならないことは言うまでもありません。

公式 Instagram

つやつや
＜津山信用金庫＞

フォロー&いいね
お待ちしております！



LINE



LINEの
お友達登録も
お願いします！



※つしん日和に関するご意見・お問い合わせは当金庫HP「お客さまの声」からお願いいたします。

編集発行:事業所応援部

TEL:0868(22)4136

FAX:0868(22)8637

MAIL:s1735017@facetoface.ne.jp

(つしん日和第101号:2024年10月25日発行)